授業科目名・形態	介護過程Ⅳ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	石岡　和志	実務経験の有無	有	開講期	2 年後期
科目ナンバリング	W4-2040c				

【授業の主題】

本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を行うための思考過程を学ぶ。介護過程とは、「生活の場」に違いがあっても、利用者の望む「より良い生活」の実現・継続ができるように支援する仕組みである。ここでは、介護過程のプロセス及びチームアプローチの必要性・重要性について学ぶ。

【到達目標】

1） 他の科目で学習した知識や技術を活かして、介護過程を展開できる。
2） 個別性に基づく介護計画を立案して適切な介護サービスの提供ができる能力を身につける。
3）生活の場の違いにも理解を深めながら、それぞれの事例に根拠に基づく介護実践について説明できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　介護過程の実践的展開
第 2 回　入所施設における介護過程の展開の理解：情報収集とアセスメント
第 3 回　入所施設における介護過程の展開の理解：情報の統合化
第 4 回　入所施設における介護過程の展開の理解：生活支援を行うための課題の分析・統合化
第 5 回　入所施設における介護過程の展開の理解：生活課題を捉える
第 6 回　入所施設における介護過程の展開の理解：計画の立案①(情報収集、課題の分析・統合化)
第 7 回　入所施設における介護過程の展開の理解：計画の立案②(計画作成)
第 8 回　入所施設における介護過程の展開の理解：介護計画の発表
第 9 回　入所施設における介護過程の展開の理解：介護計画の策定過程を発表
第１０回　「事例」に基づいた介護過程の展開の理解
第１１回　介護計画作成のプロセス①(計画)
第１２回　介護計画作成のプロセス②(実施・評価)
第１３回　介護過程のプロセス③(ケアカンファレンス)
第１４回　今までの振り返り
第１５回　まとめ

【授業実施方法】

アセスメントシートの作成、プラン作成等を中心に、実践を想定した個人ワーク、グループワークが殆どを占める。講義より、実践に赴きを置いた科目である。

【事前・事後学習】

毎回、テキストを中心に 2 時間の予習及び講義内容を踏まえた 2 時間の復習を行うこと。アセスメント、プラン作成を繰り返し行うため、思考力、文章力を高める努力を各自で行うこと。

【主な関連する科目】

介護総合演習、介護の基本

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座 9 介護過程（第 2 版）中央法規、「ヘルプマン！」に学ぶ介護過程 中央法規

【参考文献】

田中安平：プロとしての介護福祉士を目指すあなたに、ラグーナ出版、鹿児島市、2016 年.

【成績評価方法】

授業態度（10%）、提出物（30%）、定期試験（60%）で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

高齢者福祉施設で計画担当介護支援専門員として勤務していた経験を活かし、介護過程とケアマネジメントの関係性について講義したい。

【学生へのメッセージ】

講義や事例での学びから「利用者の望む生活」を考えていくなかで、介護サービスの提供の方法、クライエントの思いを受け止める態度、ニーズの把握・課題分析を理解し、介護計画を立てることができるようになってほしい。